

【第3期坂戸市地域福祉計画 取組一覧】

【基本目標1 コミュニティの活性化】
安心で住みよい地域をつくります

資料1-1
①令和4年度実績報告

(1)地域活動への住民参加の促進

(計画書P57～58)

No.	主な取組	①年度計画					担当課・所	事業内容	②令和4年度実績（実施内容又は実施しなかった理由）	③課題	④課題への対応策・今後の方向性	⑤指標（項目）・実績					
		R2	R3	R4	R5	R6						指標（項目）	R1	R2	R3	R4	R5
1	自治組織への加入促進	●	●	●	○	○	市民生活課	市の窓口等での加入促進チラシの配布や市ホームページに加入手続のための情報を掲示します。また、区長会等と連携を図りながら市在住の未加入者や転入者等に対し啓発を行います。	市の窓口等での加入促進チラシの配布や市ホームページに加入手続のための情報を掲示しました。また、区長会等と連携を図りながら市在住の未加入者や転入者等に対し啓発を行いました。	区・自治会の役員の高齢化による退会者の増加や担い手不足が生じています。また、価値観の多様化により新たな居住者が自治会に加入しない事例も増えています。	自治会活動の周知や加入促進の取組により、新たな会員を増やす必要があります。また、役員の負担軽減策などを検討し、担い手不足を解消する必要があります。	自治組織への加入率	68%	67.5%	66.8%	66.2%	現状維持 (69%)
2	地域の支え合いの組織づくり	●	●	●	○	○	高齢者福祉課 福祉総務課	住民の困りごとを住民で支える地域活動の仕組みづくりを進めます。 支え合いの団体に対して介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防・生活支援サービスの補助や地域の支え合いについて話し合う場を設置します。	・第1層協議体会議を1回開催しました。 ・第2層協議体会議（地域ミーティング）を年2回×5圏域、合計10回開催しました。	第1層と第2層協議体のよりよい連動、担い手づくりの方策、高齢者の社会参加等を引き続き促進することが必要です。	地域で支え合い・助け合いをしている団体の取組みの周知啓発、市民主体の生活支援コーディネーターの育成を進めていきます。また、就労支援コーディネーターを中心に、高齢者の社会参加を促進するための支援体制の構築を図ります。	地域づくり担い手講座の受講人数	25	18	31	30	

(2)集いの場の充実

(計画書P59～60)

No.	主な取組	①年度計画					担当課・所	事業内容	②令和4年度実績（実施内容又は実施しなかった理由）	③課題	④課題への対応策・今後の方向性	⑤指標（項目）・実績					
		R2	R3	R4	R5	R6						指標（項目）	R1	R2	R3	R4	R5
3	児童センターにおける「ママのつどい」等の事業の実施	●	●	●	○	○	こども支援課	子育ての不安や負担の軽減を図るため、つどいの広場やママのつどい等、乳幼児親子が気軽に集い、交流や情報交換、相談ができる場を運営します。	つどいの広場2か所、児童センター4館を地域子育て支援拠点として位置付け、乳幼児親子が気軽に集い、交流や情報交換、相談ができる場を提供しました。	子どもを遊ばせる場だけではなく、保護者の交流や情報交換、相談の場であることを広く市民に周知していく必要があると考えます。	乳幼児親子が関わる事業や案内をする際に、地域子育て支援拠点に関する周知も併せて行います。	事業の参加者数	11,750人	17,935人	28,125人	41,465人	増 (22,001人)
4	子育てサロン、子育てサークルへの支援の実施	×	×	×	○	○	保育課	子育て支援センターで、自主サークル及び子育てサロンへ遊びの提供や遊具の貸出等の活動支援を行います。	自主サークル及び子育て支援サロンから遊びの提供や遊具の貸出等の要望がなかったため、実施しませんでした。 ※要望があれば貸出可としていました。	特になし	今後も継続して活動支援を実施します。	おもちゃ等の貸出	未実施	未実施	未実施	未実施	
5	高齢者の居場所として介護予防自主グループへの支援	●	●	●	○	○	高齢者福祉課	介護予防に取り組みながら、高齢者が交流を図る「さかどお達者体操」自主グループの支援を行います。	「さかどお達者体操」自主グループへ専門職（理学療法士）の派遣を23回実施しました。	専門職への派遣依頼がコロナ流行前と比べ少なく、定期的なフォローアップをしていく必要があります。	立上げから2年以上経過した団体は団体からの派遣申請をもって派遣となるため、各委託包括の協力のもと活動実態確認及び派遣申請の斡旋を引き続き行います。	自主グループ数	37	39	39	40	増 (32グループ)